

令和5年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 読み取る力を向上させるための読書量の増加 基礎基本的な漢字の習得に課題がある。 自分の考えや感想を正しく表現することに苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語単元の作者の作品を読んだり、新聞を読み感想を書いたりする活動を取り入れる。 家庭学習において反復練習して定着を深める。 考えを整理する時間を大切に、考えを交流する時間を設定する。 	B	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題を読み、適切な式を立てることに差が見られる。 求めた答えの根拠を説明することに、苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文の中のキーワードは印を付け、正しい式を立てられるようにする。 解答に至った経緯を児童に問い返し、理由を説明させる。 	B	B
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活経験などを踏まえて、予想を立てることに苦手意識がある。 観察、実験で分かった結果から考察を自分の言葉で書くことに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達との対話の時間を十分に確保し、予想を立てさせる。 自分たちの実験に加え、ICT 機器を使って、理解の充実を図り、考察を書く時間を十分確保する。 プログラミング学習を通して、論理的思考力を養う時間を設定する。 	C	B
社会	<ul style="list-style-type: none"> 物事を関連付けて、考えや予想を表現する力に差が見られる。 資料から情報を読み取れないことがある。 自分の力で教科書や資料集から情報を取捨選択しまとめることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題の予想や答えをかく時間をしっかりと確保して、考えを表現する経験を増加させる。 まずは簡単な情報からでも集めることの大切さを意識させるために、児童の発見を称賛する場面を多くとる。 教師が資料やキーワードを提示したうえで、自分で課題解決する時間を確保する。 	B	B
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などの関わりについて理解しているが、言語化し伝え合うことが難しい。 生き生きと音楽表現を楽しみ、豊かな発想をもっているが、それを音として表現する技能が伴わず、やり切ることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴き取って感じたことが、音楽の構造やどの要素と結びついているのか言語化することを習慣化していく。 自分が表したい表現に必要な技能の習得を進める。少人数指導や、児童同士の教え合い、学び合いの機会を意図的に設け、一人一人に十分な指導ができるように心がけていく。 	B	B
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの表現を見付けて、意欲的に作品に取り組む児童が多いが、粘り強く丁寧に取り組む半面、期限内に完成しない子もいる。 困難なことが生じたときに、前向きに取り組めない事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階見本、ICT 機器を活用して活動の流れを視覚的に分かりやすく示したり、系統的に学習を振り返ったりすることで、児童が見通しをもって安心して取り組むことができるようにする。 自己解決出来るような選択肢を提示し、スモールステップで成功体験を重ねられるようにする。 	B	B
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 作業手順や必要な物の準備などで、自ら考え進めることに課題がある。 学習中に困難なことが生じたときに適切にたずねることが難しい。 作品作りで自分の技能を生かしたものを計画することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて準備・手順・段取りが確認できるようにビッグパッドに掲示したりパワーポイントを作成したり児童に合わせた活動ができるようにする。 少人数グループやペア学習の機会を増やし教え合い、聞き合い、イメージ作りをする力を付ける。 	B	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分がどのように体を動かしているのか分からず、技能の習得に差が見られる。 自分の課題を見付けることに苦手意識をもっている。 自分の生活を振り返り、健康に関心をもていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達からのアドバイスの他にタブレットで撮影したものを見て、把握できるように関わり合いを大切にしていく。 授業前に今日の目標、授業後に振り返りと次回の課題を明確にする時間を設ける。 元気アップカードを行うだけでなく、振り返る時間を設定する。 	B	B
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で継続して英語を使う場面が少ないため、定着に時間がかかる。 英語を話したり聞いたり、文にすることにチャレンジできないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的あいさつだけでなく、今まで学習した内容も積極的にウォームアップ活動に取り入れる。 インタビューやグループワーク、発表など友達や ALT との英語での交流活動を積極的に設定する。 	B	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。